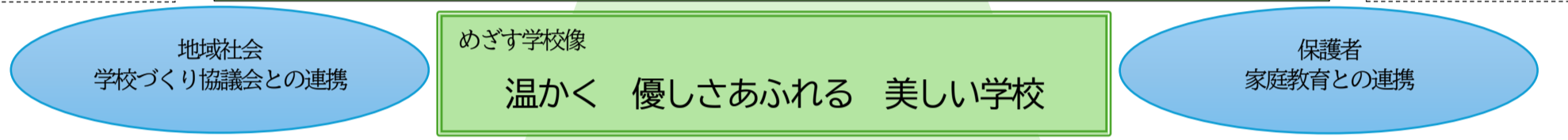
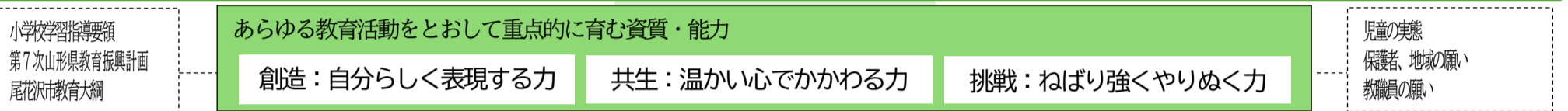


玉野小学校 Educational Philosophy

学校は、一人一人が「自らの人生の主人公」として育つ場所である。
 子どもたちは、自分の夢をもち、自己実現に向けて試行錯誤を重ねながら、地域の中で仲間とともに成長していく。その基盤となる力を育むことこそが、玉野小学校の使命である。
 どんなに苦しく悲しいことがあっても、夢に向かってねばり強く歩み続けることで、ほんとうの幸せを実感できる。学校は、そのような幸せに向かって、自らの人生の主人公として生きていくために必要な力を育まなくてはならない。子どもたちには、失敗を恐れず、ねばり強く挑戦し、自分らしく生きる力を身に付けてほしい。また、困っている人や苦しんでいる人を思いやり、温かく支え合える人になってほしいと願う。そして、一人一人が自らの生き方を見つめ、未来への「人生脚本」をえがきながら、自らの力で人生をつくっていく力を育てたい。
 学校は、単に教育課題を解決するためにあるのではない。子どもも教職員も、一人一人が夢を語り、互いに支え合いながら自己実現をめざすところである。玉野小学校は、「自分の幸せ」と「他者の幸せ」をともに大切に、温かく、そして力強く生きていく主人公を育てる教育をめざしていく。

学校教育目標（めざす子どもの姿・めざす教師の姿）

「自他の幸せのために、多様な他者と共にねばり強く挑戦し、自分らしく学び続ける子ども」の育成



- 基本方針
- 1 「和」と「対話」を重視した学校運営
 - 2 温かい児童理解（「子どもの味方になる観方」）を基盤とした教育活動の推進
 - 3 「リーディングスキル」を視点とした、生徒指導と特別支援教育力を生かした授業の創造
 - 4 ふるさと（玉野地区）を「学びのフィールド」にする教育課程の編成
 - 5 互いにケアし合うことで安全・安心を育む「働き方改革」
 - 6 複式の強みを生かし一人一人の学びを保障する教育環境の整備

| | | |
|---|--|---|
| <p>◆ 温かさを育む「対話」による学校運営</p> <p>① 心理的安全性を育む共感的な「聴く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感情等背景にあるものに意識を向けて、共感的に聴く。 ・率直に意見を交わす。 <p>② 内省的な対話⇔生成的な対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考えの土台となっている価値観や判断基準、過去の経験を、一度客観的に見つめ直し、意見をまとめ直してから伝える。 ・互いの価値観や背景にあるもの、内面性を理解し合うことで多様性を受け止める。 <p>③ 「相互承認」と「共通理解」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴を基盤とした「相互承認」を重視。 ・「共通理解」による協働の推進。 | <p>学校経営の重点</p> | <p>◇ いじめ・不登校の未然防止・早期解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの立場に立った指導 ・意図的、計画的な未然防止の取組 ・実効性のあるいじめ防止基本方針 ・いじめ「見逃しゼロ」 ・チーム対応による早期発見、早期解決 ・不登校支援基本方針をもとにした支援 ・子どもの声を生かす児童会活動の充実 ・あいさつし合う仲間づくりの推進 ・縦断班活動の充実 |
| <p>◆ 働き方改革の推進</p> <p>「やりがい」と「つながり」をつくる</p> <p>① 資質能力の明確化による業務の精選</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育む資質能力を明確にすることで、業務の優先順位を整理し、目標達成に本当に必要なことに注力する。 ・業務（授業）に関する知的好奇心を育む。 ・自己実現に向け、一人一人の「+α」のモチベーションを高める。 <p>② ワークライフバランスの重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・life重視の「働き方Week」を設定する。 ・一人一人バランスのととり方は違うことを前提に、互いの働き方を受け入れ、尊重していく雰囲気醸成する。 <p>③ 教育課程の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の教育課程（授業時数）に、ゆとりを確保する。 ・放課後にゆとりをもたせる週時程の継続。 | <p>◇ 「授業の創造」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「知的好奇心」を育む学習過程の創造 ○ 「共感力（聴く）」を基盤とした人間関係づくり ◎ 学びの基盤となる「リーディングスキル」の育成 ◎ 思考過程における「書く」活動の重視 ○ 生徒指導の4つの視点を生かした指導 ○ 特別支援教育力を生かした指導 ○ 読書教育の推進 <p>・重点研究 研究テーマ 深く学ぶ子どもの育成 ～リーディングスキルを生かした授業づくり～</p> <p>・リーディングスキルの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ★スキルトレーニングの時間の設定（教育課程の工夫） <ul style="list-style-type: none"> ・週2回の視写の時間を設定 ・算数科、社会科、理科の教科書を活用 ★授業をととして「係り受け解析」「照応解決」「同義文判定」「推論」「イメージ同定」「具体例同定」のスキルを育む <p>・「書く」活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ★思考過程に「書く」活動を位置づける <ul style="list-style-type: none"> ・考えを形成するための「書く」活動 ・考えを深めるための「書く」活動 ・自分の考えをふり返るための「書く」活動 <p>・「聴き合う」活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ★相手の心を思いやって聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立ち場で聴いて、考え、表現する活動 ・聴写の場面を意図的に設定する。 | <p>◇ インクルーシブ教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な学びを尊重し、すべての子どもが共に学び成長する環境を整備する。 ・平等な支援から公平な支援へと考え方を広げ、多様性を受け入れ互いに支え合う学びを進める。 ・特別支援コーディネーターを中心としたOJTを基盤に、教師の専門性を高める研修を計画的に実施する。 ・個別の支援シート・指導シートの見直しサイクルを明確にし、保護者とともに支援していく。 |
| | | <p><評価改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校評価 <ul style="list-style-type: none"> ・育む資質・能力の観点から、学校経営の重点に関する自己評価、保護者と子どもの評価 ○学校づくり協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価結果の共有 ○各種調査結果 ○教職員の人事評価 ・キャリア開発 |

<教育活動を支える基本姿勢> **温かい子ども理解「子どもの味方になる観方」**

- 気持ちに寄り添い、その子の身になって内面を想像することを通して、その子なりの道理を理解する。
- その子の「よさを見付け それを生かし さらに伸ばす」ことを基本姿勢とする。